



議会だより

あさぎり

No.35
H 24.11.15 発行

主な内容

あさぎり町議会 [検索](#)

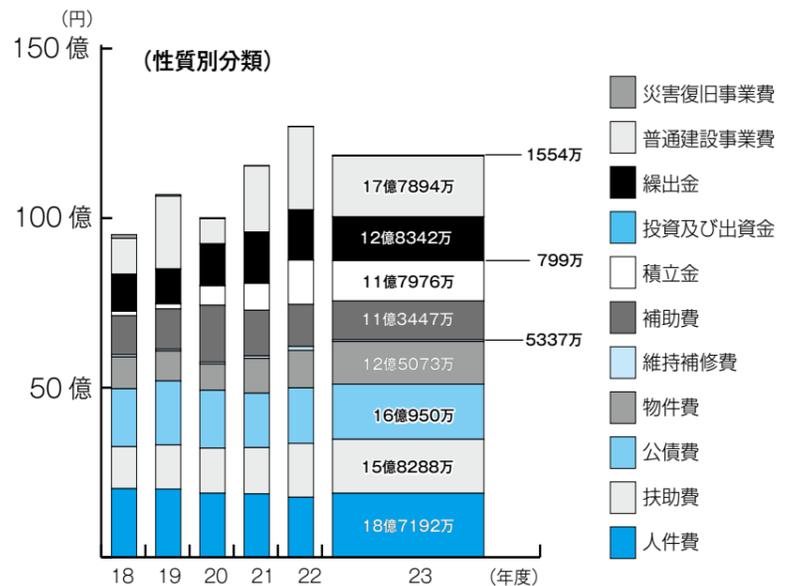
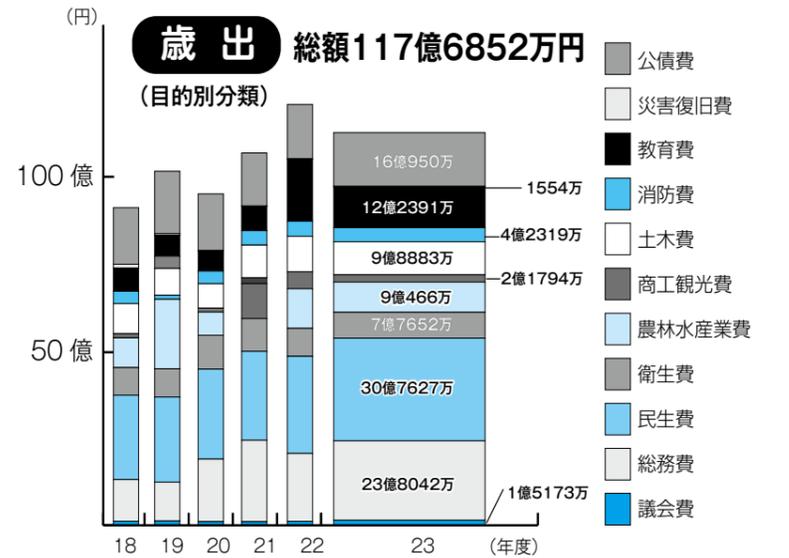
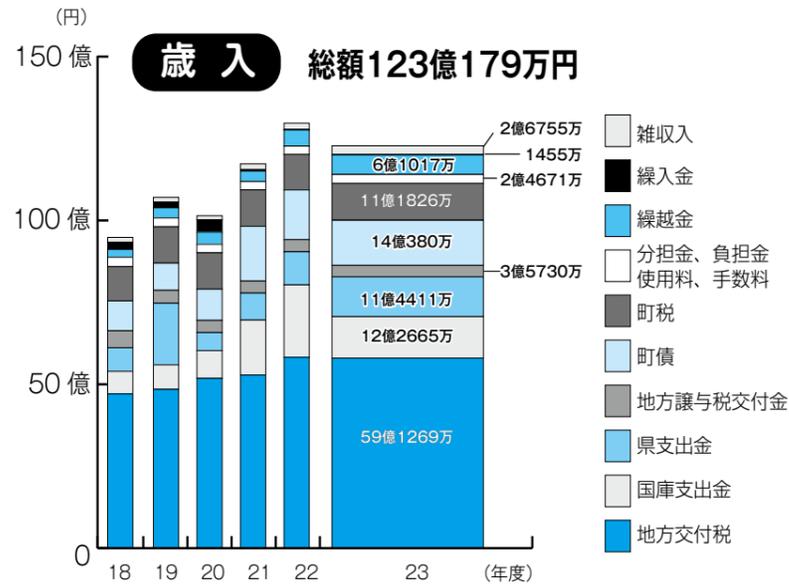
- 予断を許さない町財政 2~4P
- 商工会設備割賦販売事業補助金5千万円 5P
- 11名が町政を質す 6~11P



あさぎり中学校
初めての大運動会

将来を担う504名の生徒が躍動！

一般会計決算状況



実質収支 4億4031万円
形式収支から事業繰越等に併し翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額。

単年度収支 4729万円
当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額。

実質単年度収支 5億1427万円
単年度収支に当該年度に措置された黒字要素(財政調整基金積立金、繰上償還)又は赤字要素(積立金取崩し)を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようになったか検証するもの。

財政力指数 0.231
財政力(体力)を示す指数であり、指数が高いほど財源に余裕があるとされる。

経常収支比率 81.3%
財政構造の弾力性を判断する指標。比率が小さい方が優秀。「人件/扶助/公債費等の経常経費」割る「地方税・普通交付税等の経常的一般財源」の比率。端的に言えば人件費等の経常経費比率は75~80%が妥当値のため、80%以上は人件費等が高すぎることになる。

実質収支比率 5.9%
標準財政規模に対する実質収支の割合をいう。一般的には、3~5%程度が望ましいとされている。

実質公債費比率 14.4%
公債費による財政負担の程度を示すもの。比率が小さい方が優秀。18%以上だと地方債の発行に国の許可が必要となり、25%以上となると一般事業等の起債が制限される。

将来負担比率 110.2%
将来負担しなければならない負債(第三セクターや会社の負債も含む)の割合のこと。数字が大きいと、将来世代の負債が大きいことを示す。

一口メモ

自主財源と依存財源
自主財源とは、地方公共団体が自らの権能に基づいて自主的に収入するものを指し、依存財源とは、国や県の意思決定に基づき収入されるものをいいます。

* **自主財源**……地方税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入
* **依存財源**……地方譲与税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債

近年、あさぎり町は依存財源が増えてきましたが、25年度までで合併による財政優遇措置がなくなり、26年度からは普通交付税が段階的に減額されます。

平成23年度決算

歳入歳出差引4729万円の黒字

審議内容の抜粋

決算審査意見書について 監査委員への質疑

問 今後、町も複式簿記に移行していくべきと思うが、その問題点は。
答 23年度から財務諸表を公表しているが、元が複式簿記ではないので損益計算はできていても貸借対照表ができない。これからは公会計(複式簿記)への移行を見据えた財産の管理評価をしていく時期にきていると思う。
問 出捐金は簿価(簿記会計上での価格)ではなく、評価額(資産等を時価評価して得られた価額)にするべきではないか。
答 現在は、制度上簿価にしている。評価額にするには制度そのものを変える必要がある。

総務文教常任委員会所管課分

問 くまがわ鉄道安定化補助金は年次的に増えているが、赤字解消に向けた取り組みは。
答 くまがわ鉄道では、25年度に車両の入れ替えがある。コスト削減を含め色々なアイデアもあるが、赤字解消はなかなか難しい。



厚生常任委員会所管課分

問 歳入で、市町村たばこ税は前年に比べ1千万円程の伸びを示しているがその分析は。
答 22年10月に行われた製品たばこの増税が要因であり、売上本数は逆に減少している。
問 国保において、医療費抑制等のためのジェネリック医薬品(後発医薬品)成分は変わらないが安価)の活用はどのようにされているか。
答 月1回のおたっしや健診(70歳対象)や、あさぎり広報でジェネリック医薬品

問 文化ホールは町にとって大きな宝であるが、自主事業等の回数を増やすことはできないか。
答 実のある自主事業を毎年検討しているが、予算的に厳しい面がある。今後、安くても町民の皆さんの興味を得られるような事業を企画したい。

問 学校給食の材料納入をする町内業者とその他の数を尋ねる。また、地場産業育成の面から極力町内業者を優先できないか。
答 町内業者が18社。多良木町5社。人吉市、相良村等が4社。熊本市が2社。これからも学校給食運営委員会で十分協議して、できるだけ地元業者を使うようにしたい。

建設経済常任委員会所管課分

問 球磨川サイクリングロードの管理(除草等)不足で近隣の農家が迷惑を被っており、その責任の所在は。
答 公園の部分は町が管理しているが、他の箇所では問題が発生している。県に維持管理(除草等)をお願いしているが予算が伴っていないのが現状である。
問 店舗改装事業補助金の交付対象は、今後6次産業化を含めた事業にも広げべきではないか。
答 産業の活性化につながる事であるので、見直しを含めて検討したい。

問 多額の指定管理委託料が計上されている、ヘルシーランドと温華乃温泉の燃料費削減の方策と、今後2つの温泉の位置づけは。
答 燃料費の削減においては、バイオマス燃料等の検討もやっているが結論には至っていない。位置づけとしては、今後行財政改革の中で2つの温泉を維持していくのは困難と思うので、温泉としてはヘルシーランド、温華乃温泉は町民に納得いただけの議論をしながら他の施設に転用を考えている。



温華乃温泉

平成24年度 一般会計補正予算

歳入・歳出2億8109万7千円の追加に対し
修正動議が提出され、減額3,100万円(須恵住宅建設費)の
補正予算**2億5009万7千円**で可決



(旧 須恵中学校跡地)

- 財政調整基金積立金……………127,080千円
- 熊本地利型農業緊急支援事業費補助金…… 4,535千円
- 森林総合研究所造林事業造林委託料…………… 5,500千円
- あさぎり町商工会出捐金 しゅつえんきん …………… 50,000千円
- 河川災害復旧・工事請負費…………… 1,500千円
- くま川鉄道経営安定化補助金…………… 9,923千円
- まちづくり基金積立金…………… 8,508千円

- ・ 介護保険特別会計補正予算…………… 23,910千円
- ・ 介護サービス特別会計補正予算…………… 6,002千円
- ・ 簡易水道事業特別会計補正予算…………… 45,600千円
- ・ 下水道事業特別会計補正予算…………… 3,504千円
- ・ 上財産区特別会計補正予算…………… 4,281千円
- ・ 球磨郡障害認定審査事業特別会計補正予算…………… 1千円

谷水川浚渫工事の調査に関する決議案

◆提案理由

今年の大雨によって、工事をした場所からコンクリートガラが発見され、職員の指示で埋め戻されたものとの事であり、建設廃材として処分すべきところを、予算がないからとの事だが、事実だとすれば適切に処理していない。

また、工事に出てきたコンクリートガラと偽り、別の箇所のものを建設廃材として処分している疑いがあるので実態を明らかにする必要がある。

- ①調査事項
 - ②調査権限
 - ③調査期限
 - ④調査経費
- が提案説明により決議された。

◆特別会計の決算状況

会計名	収入額	支出額	残 額
国民健康保険	25億6,065万円	21億4,257万円	4億1,808万円
後期高齢者医療	1億6,948万円	1億6,711万円	237万円
介護保険	15億6,888万円	15億3,758万円	3,130万円
介護サービス	4,694万円	3,958万円	736万円
簡易水道事業	5億2,385万円	5億515万円	1,870万円
下水道事業	9億2,380万円	9億430万円	1,949万円
水道事業	7,043万円	6,286万円	757万円
上財産区	3,409万円	3,237万円	171万円
球磨郡障害認定審査事業	1,090万円	845万円	245万円
球磨郡介護認定審査事業	3,475万円	3,096万円	379万円
合 計	59億4,376万円	54億3,094万円	5億1,282万円

決算審査意見書(要旨)

本町財政は、平成23年度決算の財政の健全化判断比率でみた場合、将来負担比率・実質公債費比率・前年度に比し全体的に改善されていることが伺える。

1 下水道使用料の賦課漏れ

賦課漏れが発覚したのは平成23年9月であり賦課するまでに6カ月以上経過しており、結果としては平成19年4月分以前の使用料は時効となっている。もっと迅速な処理ができなかったのか。開始届書が紛失している事実を想定した調査が必要である。

2 国民健康保険税

本町の健康保険税は県下で最も高い水準であり前年度の決算審査の意見にも取り上げたが、

原因の解明までは至っていない。早急に原因を究明して対策を講じられたい。

3 備品台帳

各課においてそなえるべき帳簿が備え付けられていない。あさぎり町財産規則に則った管理を行われたい。

4 公営住宅使用料

公営住宅使用料について支払督促の手续により3件の回収を行った。私法上の債権には他に水道料金及び学校給食費が該当するので債権の回収の参考とされたい。

あさぎり町監査委員 月足 茂則
あさぎり町監査委員 山口 和幸

◆第3回定例議会 議案表決一覧表(抜粋)

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
50号 あさぎり町有機センターの指定管理者の指定について		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
53号 平成24年度あさぎり町一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
53号修正議案 一般会計補正予算修正案について		○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×
認定第8号 平成23年度あさぎり町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
発議9号 谷水川浚渫工事調査に関する決議案		○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×

あさぎり町有機センターの指定管理者の指定について

所在地 あさぎり町上北1972番地1

株式会社 新和コンサルタント

代表取締役社長 新原裕介

指定の期間 平成24年10月1日～26年3月31日迄



一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

11名が登壇

産業廃棄物処理についての問題点は
徳永 正道 議員

あさぎり中学校通学路の安全確保は
橋本 誠 議員

あさぎり山の幸興社の今後の事業は
皆越 てる子 議員

あさぎり中学校グラウンド整備を早急に
溝口 峰男 議員

大豆産地維持の対策は
豊永 喜一 議員

町村合併後、財政的メリットは
永井 英治 議員

これからの10年間、あさぎり町の財政運営で重要な点
久保 尚人 議員

あさぎり町小・中学校のいじめ実態と解決方法は
奥田 公人 議員

町の農業振興と対策は
小出 高明 議員

閉校後の中学校の活用維持は
小見田 和行 議員

あさぎり町はなぜ県内で1番高い国保料なのか
加賀山 瑞津子 議員

※紙面の都合により、各議員の質疑応答については掲載文を360字以内としています。

問 あさぎり山の幸興社の今後の事業は

町長 あさぎり町シイタケ生産組合を検討



皆越 てる子 議員

皆越 平成21年度から23年度までの3カ年間でふるさと雇用再生特別基金事業対策が実施されるという事から、県の補助金8千5百万円余り、又24年度は町からの業務委託料一千万円が支出され、5月末で資金難と言う事で、事業中止、今後の町の方角性を伺う。

町長 基本的な考え方でありますが、町有林・上財産区にシイタケの原木として使えるクヌギ林が約150haあるということで、建設業とか他の会社の方とか含めてシイタケ栽培に興味を持ってもらえる方に、町の方へ来ていただいで、シイタケ生産組合の組織化について前向きに検討したい。



シイタケ栽培ハウス



あさぎり山の幸興社

その他の質問

◎図書司書の配置について

問 産業廃棄物処理についての問題点は

建設課長 当初の目的効果が得られると判断し埋め戻しを指示した



徳永 正道 議員

建設課長 担当が年度末でもあり事業費の支出額が気になる。埋め戻しを指示した。徳永 業者は、産業廃棄物の処理の方法を町に伺いをたてている。結果、そこまでの予算がないから埋め戻るとの事だったので従ったといっている。



谷水川浚渫工事現場

徳永 谷水川の浚渫工事が平成23年2月1日から3月18日迄の工期で実施してある

り、そのような言葉を使ってしまったと思うが不適切だったと反省している。
徳永 課長の説明には納得いかない部分があるので建設経済常任委員会に調査を願いたい。

文化財の修理・補修の負担について

徳永 県の調査で住民の高齢化などで手入れができず、老朽化し、破損した文化財が増えていっていると報告があつている。このような現状の中で関係住民の負担が重くなる。負担を0にできないか。
教育課長 事業費、修理費が高額になっていけば補助率を上げて、所有者の負担にならないように努めていきたい。

問 あさぎり中学校

通学路の安全確保は

町長 安全な登下校の通学路を確保して行きたい



橋本 誠 議員

橋本 町道今井中線線の原鮮魚店から武道館間、朝夕の混雑時間帯だけでもスクールゾーン化にできないか。
総務課長 通学路の安全性の確保という観点からスクールゾーン化は必要と考えるが、現在のところ警察署の判断からスクールゾーン化の許可はできないとの回答があつた。



あさぎり中の通学路

てほしい。

生涯学習について

橋本 生涯学習の為、聴講制度を取り入れるべきではないが、コミュニティスクール(学校応援団)という形で推進していきたいと考えている

その他の質問

◎旧中学校の跡地について
◎町内企業の支援の在り方について

問 あさぎり中学校

グラウンド整備を早急に 次年度、国・県の補助事業 に手を挙げ整備をしたい

教育課長

溝口 須恵住宅に伴う町営住宅の計画を変更すれば議会に説明し理解を求めるときではないか。

町長 大きな町の方角性の変更であるし、予算も変化するので適宜報告すべき内容と思うので速やかに説明をすることで進めていく。

溝口 あさぎり中学校のグラウンドの排水が悪く部活動に影響がでてくる。早急に整備をすべきではないか。

教育課長 次年度に国・県の補助事業に手を挙げ有利な補助金を



あさぎり中学校グラウンド

をもらって整備をしたい。

溝口 あさぎり山の幸興社の委託料一千万円は、町に返還する様、議会は決議しているが、町長はどの様に考えているのか。

町長 決議の目的は、事業継続をすることだったので、継続をきちっと実施できるところまでやり遂げる。

一般質問

一般質問



久保 尚人 議員

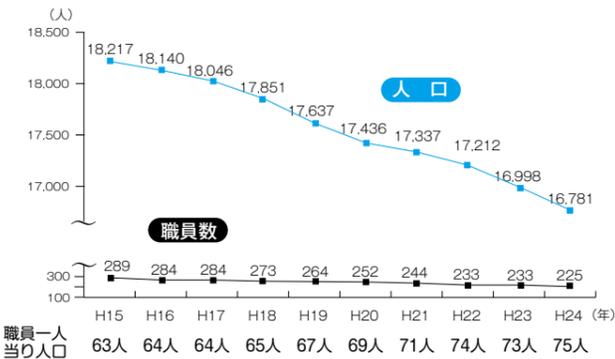
問 これからの10年間、あさぎり町の財政運営で重要な点

町長 職員削減計画についてはもっと踏み込んだ検討が必要

久保 23年度職員採用試験では予定数2名が合格者は3名とされた。多額の出費となる職員採用を簡単に増やしていないか。職員削減計画を真剣に進めていく覚悟があるのか。

町長 2名程度としているので問題はない。総務課長 類似団体の平均職員数を参考にしている。

久保 財政が非常に厳しくなる中、平均値ではなく最少数に合わせるべき。町民の感覚からすれば甘すぎる。あさぎり町は2日に1人の人口減少が続く町。25年後の町民1万2千5百人に対しての適正職員数125名にまで削減するには、5年間で20名の削減を行い、継続し



適正とされる職員一人当たり人口は100人

問 大豆産地維持の対策は

町長 何らかの支援策を出していくべき



豊永 喜一 議員



大豆作付け圃場

豊永 大豆は取引業者から高い評価を受けながらも、年々面積は減少し供給量も不足している。産地維持の対策は、換（はるしずく）への種子代を支援・助成出来ないか。

農林振興課長 地域農業振興協議会の中で協議を進めていきたい。

豊永 大豆は取引業者から高い評価を受けながらも、年々面積は減少し供給量も不足している。産地維持の対策は、換（はるしずく）への種子代を支援・助成出来ないか。

町長 町も大豆を使って加工品として取り組みをしている。百ha以上の安定した作付をお願いしたい。これについては何らかの支援策を出していくべきと思っている。

豊永 山の幸開発事業のその後の対応についてどうなっているか。

町長 基本的には町は多くのクヌギ林を町有林あるいは財産区に持っている。この資源を活かして継続して事業を続けられないか検討している。

一般質問

一般質問

問 町村合併後、財政的なメリットは

町長 人件費の削減が大きい



永井 英治 議員

永井 あさぎり町は行財政効率型が目的の合併だったのだが、これまでに振り返りそのメリットはどう感じておられるか。

町長 人件費とか物件費のメリットが大きいと考える。今後、普通交付税が合併算定替えから一本算定に移行する事で交付税が減額されるので、気を緩める事なく行財政改革

交付税の総額が減らされる時に、確かに交付税に算入されるのか。

企画財政課長 一本算定になっても元利償還分（公債費）の交付税算入額は変わらない。

副町長 合併のスケジュールメリットによって、地方交付税の中の公債費

革に取り組んで行く。

永井 町が起債（借金）した場合、町の元利償還分が交付税に算入されるはずだが、

以外の部分は減額になるので公債費の率が高くなり、反対に自由に使える部分は厳しくなってくる。



良きアイデアで行政改革

問 あさぎり町小・中学校のいじめ実態と解決方法は

町長 教育長・教育課長に指導・監督を依頼



奥田 公人 議員

奥田 学校生活の中で避けて通れないのがいじめの問題であると思う。いじめは当事者同士の問題であり、被害的立場の人がいじめを受けていると言え、いじめ問題となり、いじめを受けていないといえ、いじめ問題ではあり得ない微妙な状態である。こんな悩みが積み積もれば最悪な自殺も起こり得ると思う。

この様な大きな問題を回避するには、どんな小さないじめ問題でも早期に発見して、スムーズな解決を図ることが重要である。あさぎり町における小・中学校並びに教育委員会における対応は、適切に行われているか。

町長 教育長なり教育課長に対し適切な指導・監督を依頼している。

教育長 人間が集団で生活する上では、いじめめというものは当然、何らかの形で出て来ると思うので、どの学校でもどの子どもも起きるといって観

点に立って指導する

ように日ごろから先生方にもお願いしている。

その他の質問

◎あさぎり中学校登下校時の交通安全は





小出 高明 議員

問 町の農業振興と対策は

町長 営農支援センターを稼働させたい



上小学校北側法面状況

小出 現在、農業者の戸別所得補償制度により、以前の農業体系と変わって来ている。これから何年後か流動的ではあるが制度が減額或いは中止になった場合、町として農業振興をどの様に考えているのかお尋ねしたい。

小出 農業後継者対策について。農業者の高齢化が進み、今後更に農家の減少が加速すると思う。農業基盤の維持には、一層の担い手確保が求められていると思うが、町の考えは？

町長 営農支援センターを稼働させ、青年就農者のサポート、6次産業・農産物の加工奨励を支援して行きたい。

その他の質問

◎上小学校北側の法面の管理について

◎施設・名所の維持管理について

問 閉校後の中学校の活用維持は非常に危機感を持っている



小見田 和行 議員

小見田 あさぎり町にとって、類似施設、遊休施設をかかえ、中学校も閉校し今後の維持管理を行っていくうえで現況把握は基礎的要因と思う。中学校も閉校後半年が経過としていくが、学舎が荒れていくのを、地元住民だれも見たくないと思う。活用策は。

小見田 町の固定資産台帳が未整備であるが、これで先々の方針、修繕とかの数値の信頼度に疑問を持つが、どう考えるか。

副町長 できるだけ早急に整備に努めたい。

その他の質問

◎下水道料金賦課漏れ等の事務処理ミス対策

◎人、農地、プラン策定について



旧 岡原中学校

問 あさぎり町はなぜ

県内で1番高い国保料なのか

町長 推移を見極め見直しを検討

加賀山 医療費は県内において高い方ではないのに、なぜ国保料は高いままなのか。その理由と今後の対応について伺いたい。

入者は五二七一人、加入率は人口の三一・五%、加入世帯は四五・六%。国保税の収納取り組については振興局への研修派遣等実施し収納担当及び納税者の意識改革を図り収納率向上に努めている。



健康づくり「ウォーキング」

町長 今後は医療費の抑制を図りながら

来年度以降の税の中身については四〜五年の中期的な推移を見極めた上で国保税の見直しを検討したい。

その他の質問

◎医療費増加抑制のひとつとしての健康づくり、健診の取り組みについて

あさぎり町区長会（五十三地区）と町議会

意見交換会

9月27日ポッポ1館にて意見交換会が開催されました。

◆議会から

- 1 議員からの町づくり提言
- 2 6月及び9月議会定例会の内容報告
- 3 各委員会報告を行いました。

◆区長さんから

・町長選挙と町議選挙の同日選挙について・空家対策について・防災訓練実施後の反省と要望について・旧須恵中学校跡地の早期住宅建設の要望・各委員会報告の文書配布の希望等熱心な質問ご意見がありがとうございました。

同日選挙等については、議会活性化特別委員会でも検討していくと



区長さん方との意見交換会

の議長より答弁がありました。町民の皆さまの為に今後も議員一同精一杯取り組みたい事を伝えし閉会致しました。

一部事務組合及び常任委員会報告

人吉球磨広域行政組合議会

平成24年8月29日、第3回定例会が開催されました。議案は第12、15号が組合の条例の制定、第16、17号が組合の財産処分、第18号が損害賠償額の決定、第19号、22号が一般会計と特別会計の補正予算で原案可決。平成23年度決算特別委員会が設置され、決算認定3件の審議は委員会に付託され、他に報告1件があり閉会しました。

球磨郡公立多良木病院 企業団議会

第4回定例会は、9月7日に開催されました。全議案何れも、原案通りに可決、認定され、決算につきましても、病院、老健、健診事業、共に前年度に続き、黒字決算となりました。又、医師不足による当地域の病院としての方向性を考える時期が来ている事等の報告がありました。

上球磨消防組合議会

消防力の一層の充実強化を図るため、「城南ブロック消防広域化協議

会」を設立し、平成25年3月末を目途に協議を行ってまいりました。しかし第9回協議会で、芦北町、津奈木町が正式に離脱を表明され、厳しい局面を迎えることとなりました。上球磨消防組合議会としても、議員懇談会、正副組合長との意見交換会を行っており、広域化に向けた意見集約を行っております。

川辺川総合土地改良 事業組合議会

第3回川辺川総合土地改良事業組合定例会は、9月5日午前10時より組合会議室にて会期一日にて開催されました。

組合長の諸般の報告において、今後の事業の見通しについては、既設導水路案の断念により正副組合長会議において、事業継続困難と判断し、平成24年度末で組合を解散し、その後は協議会方式に替えることとし、事業については引き続き国に、国営事業として、事業継続を要望していく（新聞等にて報道）との報告がありました。

続いて、平成23年度一般会計歳入

歳出決算認定・平成24年度一般会計補正予算7億19万5千円と監査委員として、錦町の田口繁氏選任について3議案いずれも原案通り承認されました。引き続き、久保田悦子・加賀山瑞津子・上村辰生の3議員の一般質問があり執行部に考えを質しました。最後に、閉会中の継続審査及び調査について承認し閉会しました。

厚生常任委員会

一 平成24年6月26日（火）
午前9時から所管事務調査をしました

- ① 須恵保育所、岡原保育所、上第一保育所、上第二保育所
- ② しらがね寮、ヘルシーランド、温華之遙温泉、高山荘。

二 平成24年8月9日（木）
午後2時から公立多良木病院企業団を訪問しました

- ① 公立多良木病院企業団の現状及び課題について調査
- ② 総合健診センター「コスモ」、上球磨地域包括支援センター、公立多良木病院病児・病後児保育。

建設経済常任委員会

7月19日午後3時から、商工会より「商工業の活性化に関する意見交

換」の申し入れがあり実施した。産業活性化基金を活用した、5千75万円を商工業者への支援として今回、出捐金として支出することとなった。

7月23日午前九時より「あさぎり山の幸開発事業」の今後のあり方について町長より説明を求めた。

8月1日、林業活性化協議会の活動報告を受け、今後しっかりとした企画をして操業してもらうようにした。

8月28日、須恵中学校跡地の公営住宅建設について、現場視察の後、事業内容を精査したが納得できる内容ではなかったため、再検討するよう求めた。

総務文教常任委員会

7月17日火曜日、1時から議会研修室で委員会を開き、所管事務の調査として、あさぎり中学校通学路の危険箇所を現地調査致しました。それと、付託案件の審査で、学校図書館の蔵書整備・充実に関する陳情書について協議をし、8月23日木曜日午後1時半より、町内の小・中学校を訪問し、付託案件の審査とともに関係部署から聞きとり調査を致しました。

議 員 研 修 会



小出 高明

7月30日、
市町村財

政課を招いて議員研修が行われました。国、県全体の人口減少に加え、人口

構造にも変化が生じており、更なる高齢化に伴い、社会保障費が増加していく事は不可避であるとの事です。そんな中、県で最初に合併した当町では、26年度から合併措置が段階的に減額され、これまで以上に厳しい財政運営が強いられて行く事になります。他にも行政運営の課題、これからの分権時代に即した自立した自治体への取り組み。その中でも人材育成、事業の見直し、広域連携の推進等、様々な問題が山積しております。これらの問題を考える中で、まず、地元の方々の意見、要望を聞きながら、合併して良かったと思える様な心豊かな町作り、人作りに取り組んで行く事が大事だと改めて痛感し、今からの議員活動は、町民の方々の代表として、何が必要であるか否かを見極めながら、町の充実発展の為に、危機感を持ちながら努めて行かなければ！と思った研修でした。



森岡 勉

7月と7月に新人議員研修会が町と県市町村財政課主催により「あさぎり町第2次行政改革」と「市町村財政体制強化支援」について研修を受けました。あさぎり町は平成の大合併第1号となり早10年目を迎えようとしています。合併による財政優遇措置があと六年で終了し、その後は自主財源で賄うということで、引き続き、第2次財務改革が本年度より取り組みられています。広報誌「あさぎり」や、議会だよりで町の財政事情はご周知のとおり町の財政の健全度を示す4指標は硬直化の中、わが町は平成31年度に実質単年度収支の7億円の不足の予想を踏まえ、今年度より取り組みます第2次行革プランを、住民サービスの低下を招かず「住民との協働」に町民の皆さん、議会、執行部が一体による取組が大切だと思います。国は消費税の引き上げに進んでいます。少子高齢化対応に必要かもしれません。社会は大きな曲がり角にきています。曲がり角にきた時は、スピードをおとし、曲がった先の道筋をしっかり見定めていく事が大事ではないかと考えます。研修を終え、今後も地域住民主体の町づくりで一生懸命に頑張ります。



橋本 誠

7月30日に
の市町村財

政課長を迎え、議員研修会が開催されました。その内容は

- ① 「人口構造と経済面」の大きな環境変化
 - ② 地方自治体を取り巻く状況
 - ③ 厳しさを増す国・地方の財政状況
 - ④ 市町村の行政運営上の課題
 - ⑤ 求められる市町村の取組み
- についてでした。その中の一つ「合併後の公共施設の在り方」についてですが、これからは公共施設のマネジメントの導入や更新時期を迎えた施設の総量縮減の検討も含め、社会情勢等に対応した公共施設の在り方、適正配置の検討と併せて総合的な対策が必要だと思われまます。

今回研修会に参加し、新人議員の一人として町が抱えている財政問題について、行政と住民が一体となり取り組んでいかなければならないと強く感じました。





免田東本町
岩切孝市

若者が残れる町に

豊かな自然に恵まれたあさぎり町は、多くの地域資源と優れた人材を持つ可能性を秘めた町だと思います。今年には合併後節目の10年目を迎え、中学校も統合してあさぎり中学校として新たにスタートしました。先日開催されたあさぎり夏祭りは多くの若者達で賑わい嬉しく思う一方で、将来あさぎり町に何人の若者が残ってくれるのだろうか不安が過りました。若者が残れる町になるには若者が働ける場所が必要です。そのために地元中小企業への早急な支援策の検討を町行政に強くお願い致します。町が提唱される若い町、豊かな町、夢ふくらむあさぎり町を達成するには町民と町行政が一体となり取り組むことが不可欠です。その結果、朝から明るい声で「おはようございます」昼間は「ありがとう」「お世話になります」一日の終わりには「お疲れ様でした」の言葉が、家庭から、職場からあさぎり町内に溢れることを願っています。
“あいさつは、人と人を結ぶ金の鎖”ですから・・・



深田西古草城
橋口京美

つなげる・つながる農業女性

去る9月7日「今こそ原点に戻ろう食・農・いのち」をテーマに熊本県農業女性アドバイザーの研修を行いました。この大会は各地域の持ち回りで、今回は10年ぶりに球磨郡市での開催でした。1年半前から企画・運営を郡市のネットワーク「アグリチャレンジネットワーク」50人で行い、テーマの確定、それに伴う講師の選択等から事前研修等々、県の普及指導課や町役場の皆さまの力をお借りしながらどうにか無事に開催出来ました。

大会後の皆さまのアンケートの声を聞くと「講演に沿った地域色豊かな食事でも美味しかった」という声が多く、「ゆっくりと出来、楽しかった」というのもいくつかありました。私が、事前の会議の中で、皆さんにお願いをしていたこと。それは、「目的を持った大会にして下さい。」という事でした。目的をもって物事に取り組んでいくと、その過程が自信になり、行動する事が苦痛ではなく楽しいものだと私自身の経験から学んでいたからです。

私の目的は、「つながる・つなげる」縁を大切にというものでした。そして今回の素敵なお縁は県下の皆様はもとより、講師の郷田様とのお縁です。農業に不安を抱いている私達に「本当の豊かさとは何か、今迄の価値観を変え命の尊さを見つめ心の農の時代が求められている」と教えて頂き少しですが、自分の立つ位置が見えてきました。私達女性は、男性みたいに国を動かすような大きな力はありませんが、一人ひとりが意識を持ち行動すると農業も農村も楽しい場所になるに違いありません。

編集後記

秋も深まり、朝夕も随分と冷えこんできました。

国の情勢も、中・韓の領土問題、原発エネルギー、国会の空転等秋風が吹き荒れています。

その様な中、あさぎり中学校統合後初の体育大会が開催されました。将来のあさぎり町を担う生徒達が短期間の練習で一所懸命頑張る姿に心うたれました。議会も生徒達に負けずに切磋琢磨致します。

(豊永)



編集・発行責任者

議長 橋爪和彦

広報調査特別委員会

委員長 皆越てる子
副委員長 豊永
委員 森永 井英 岡喜 久保 加賀山 瑞津子
委員 加賀山 瑞津子